

1 調査の概要

（１）調査の目的

全国学力・学習状況調査は、以下①・②の取り組みを通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立することを目的として実施されています。

- ① 義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- ② 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。

（２）調査の対象

- ・小学校6年生、義務教育学校前期課程6年生、特別支援学校小学部6年生
 - ・中学校3年生、義務教育学校後期課程3年生、中等教育学校3年生、特別支援学校中学部3年生
- ※ いずれの学年においても、全ての児童生徒が対象です。

（３）調査の方式

全国学力・学習状況調査の方式は「**悉皆（しっかい）調査**」です。

悉皆調査は「**全数調査**」などともいわれ、集まったデータ全てをもれなく分析する調査のことです。（反対に、集まったデータの一部を抜き出して分析する調査は「**標本調査**」などといわれます。）

（４）調査の内容

①教科に関する調査（テスト）

令和3年度は、国語と算数（小学6年生）又は数学（中学3年生）のテストが行われました。

②生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査（アンケート）

児童生徒一人ひとりを対象とした調査と、各小・中学校を対象とした調査の2種類が行われました。

（５）調査実施日

令和3年5月27日（木）

（６）調査を受けた児童生徒数

単位(人)	小学校6年生		中学校3年生	
	国語	算数	国語	数学
恵庭市	614	615	584	583
全道(公立)	36,456	36,450	34,700	34,689
全国(公立)	993,975	994,101	903,157	903,253

※当日の参加人数

2 「教科に関する調査」調査結果

(1) 小・中学校各教科平均正答率の状況

令和3年度の恵庭市平均正答率について

- ・全国平均については小学校6年生の算数でやや下回ったが、そのほかのポイント差はほぼ同程度となった。
- ・全道平均については中学校3年生の数学でやや上回った。そのほかのポイント差はほぼ同程度となった。
- ・平成26年度以降、全国平均との差が±5ポイント以内と、大きな差が見られない状況が続いている。

(2) 令和3年度 恵庭市小・中学校の各教科別平均正答率

		平均正答率				
		小学校6年生		中学校3年生		
R3 (今回)	教科	国語	算数	国語	数学	英語
	恵庭市 (国と比較)	≒	◆	≒	≒	(実施なし)
	全国平均 (公立)	64.7%	70.2%	64.6%	57.2%	
	恵庭市 (道と比較)	≒	≒	≒	◇	
全道平均 (公立)	63.2%	67.5%	64.5%	55.9%		
H31 (前回) ※参考	教科	国語	算数	国語	数学	英語
	恵庭市 (国と比較)	≒	◆	≒	≒	≒
	恵庭市 (道と比較)	◇	≒	≒	≒	◇

(3) 調査結果解釈にあたっての留意点

- ① 恵庭市の平均正答率は、全国・全道平均正答率との比較として、「記号」や「文言」で表します。

全国・全道平均との比較 (ポイント差)	記号	文言
+5.0 以上	△	上回る
+2.0～+4.9	◇	やや上回る
-1.9～+1.9	≒	ほぼ同程度
-4.9～-2.0	◆	やや下回る
-5.0 以下	▼	下回る

恵庭市における「教科に関する調査」の実際の平均正答率数値については、他市町村等との単純比較や序列化などに結びつき、調査の目的を損ないかねないとの考えから、公表していません。
同様の理由により、市内小・中学校ごとの結果数値についても公表していません。

- ② 本調査は、幅広く児童生徒の学力や学習状況等を把握することなどを目的に実施していますが、今年度調査した教科は2教科のみであり、設問の内容も学習内容全てを網羅しているとは限りません。したがって、調査の結果から分かるのは、児童生徒が身に付けるべき学力の特定の一部分や、学校における教育活動の一側面に過ぎないことに十分ご留意ください。